

エコアクション21 環境経営レポート



(2023年5月～2024年4月)

株式会社アイザック・オール
インダスト事業部/ホテル事業部

(作成日:2024年7月20日)

目 次

[項 目]	ページ
◇ 環境経営方針	1
◇ 組織の概要	2
◇ 事業の紹介	3～4
◇ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
◇ 主な環境負荷の実績	6～7
◇ 環境経営目標及びその実績	6～7
◇ 環境経営計画の取組結果とその評価	8～12
◇ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	13
◇ 緊急事態対応訓練	14
◇ 代表者による全体の評価と見直し・指示	14

環境経営方針

〔環境経営理念〕

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、産業廃棄物処理業(管理型埋立)及びホテル業の事業活動において、社会から求められ、社会から必要とされる事業であり続けるために、常に改善と改良を希求して益々信頼される「安心・安全」な施設運営を通じて得られる成果と環境負荷の低減を図ることに向けて、従業員一丸となって継続的に環境保全活動に取り組めます。

〔環境保全への行動指針〕

- ① 環境関連法規制や業界の取り決め、地域との協定を遵守します。
- ② 省エネ活動により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ③ 自社の廃棄物や受託廃棄物の適正処理に努めます。
- ④ 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- ⑤ 化学物質(薬品類)の適正使用及び環境に配慮した物品の購入に努めます。
- ⑥ 処分場から発生する汚水は水処理後下流域へは放流しないクローズ方式をとることにより環境保全に努めます。
- ⑦ 処分場土堰堤への植栽等による場内環境の緑化を推進し、環境保全に努めます。
- ⑧ ホテル業において食品廃棄物の発生抑制とリサイクルに努めます。

制定日 令和2年5月1日

改訂日 令和5年5月1日

代表取締役社長 石 崎 大 善

◇組織の概要

- ・ 名 称 株式会社アイザック・オール
- ・ 代 表 者 代表取締役社長 石崎 大善
- ・ 所 在 地 インダスト事業部
富山県富山市山本字重治ヶ市22番地
ホテル事業部
富山県富山市春日56-2
- ・ 環 境 管 理 責 任 者 森永 政義
- ・ 連 絡 先 インダスト事業部
TEL：076-434-2371 FAX：076-434-2379
ホテル事業部
TEL：076-467-5550 FAX：076-467-3400
- ・ 事 業 内 容 産業廃棄物処分業（管理型最終処分場）

汚染土壌処理業（汚染土壌処理施設）

ホテル業
- ・ 設 立 昭和58年9月1日
- ・ 資 本 金 5,000万円
- ・ 売 上 高 3,731百万円(令和5年5月～令和6年4月)
- ・ 従 業 員 数 64名
- ・ 延 べ 床 面 積 処分場事務所 528㎡

ホテル 7505.27㎡
- ・ 最 終 処 分 場 面 積 400,677㎡
- ・ 最 終 処 分 場 容 量 12,776,441㎡ [残容量(2024年4月)：6,814,299㎡]

◇認証・登録の対象組織・活動

- ・ 登 録 組 織 名 株式会社アイザック・オール
- ・ 対 象 事 業 所 本社・インダスト事業部、ホテル事業部
- ・ 対 象 外 保育所
- ・ 活 動 産業廃棄物最終処分業、汚染土壌処理業、ホテル業

◇許可内容

- 産業廃棄物処分量

富山市 許可番号：08535046118 許可年月日：令和6年3月30日

許可有効年月日：令和13年3月29日

- 汚染土壌処理業

富山市 許可番号：0980010002 許可年月日：令和2年6月14日

許可有効期限：令和7年6月13日

◇施設概要等

- 産業廃棄物処分量

種 類	管理型最終処分場
設 置 場 所	富山市山本字浅桐谷1-1 他269筆
埋 立 面 積	400,677㎡
埋 立 容 量	12,776,441㎡
処 分 方 法	埋立
産 業 廃 棄 物 の 種 類	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、政令13号廃棄物〔以上14種類〕 (これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く) (自動車等破砕物であるものを含む) (石綿含有産業廃棄物であるものを含む) (水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む) (水銀含有ばいじん等であるものを含む)
処 理 工 程 図	
<pre> graph LR A[産業廃棄物 (搬入)] --> B[計量器(40tスケール)計測 (受付)] B --> C[管理型最終処分場 (埋立)] </pre>	

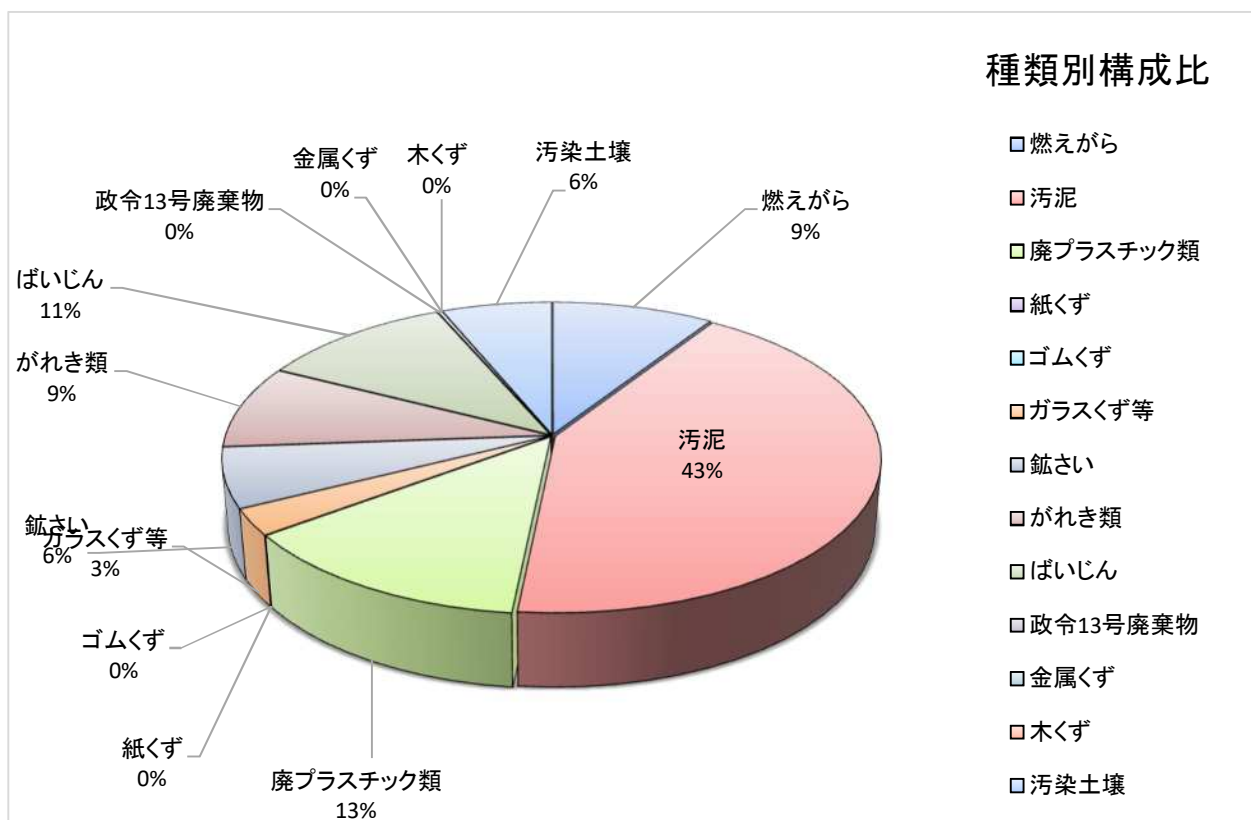
- 汚染土壌処理業

種 類	埋立処理施設	
設 置 場 所	富山市山本字重治ヶ市22番地	
埋 立 地 面 積	233,317㎡	
埋 立 容 量	6,537,709㎡	
処 理 方 法	埋立及び覆土	
施設において処理する汚染土壌の特定有害物質による汚染状態	受入れられる特定有害物質	・第一種特定有害物質 ・第二種特定有害物質 ・第三種特定有害物質
	受入れられる特定有害物質の汚染状態	第二溶出量基準以下とする
処 理 工 程 図		
<pre> graph LR A[汚染土壌 (搬入)] --> B[計量器(40tスケール)計測 (受付)] B --> C[汚染土壌処理施設 (埋立)] </pre>		

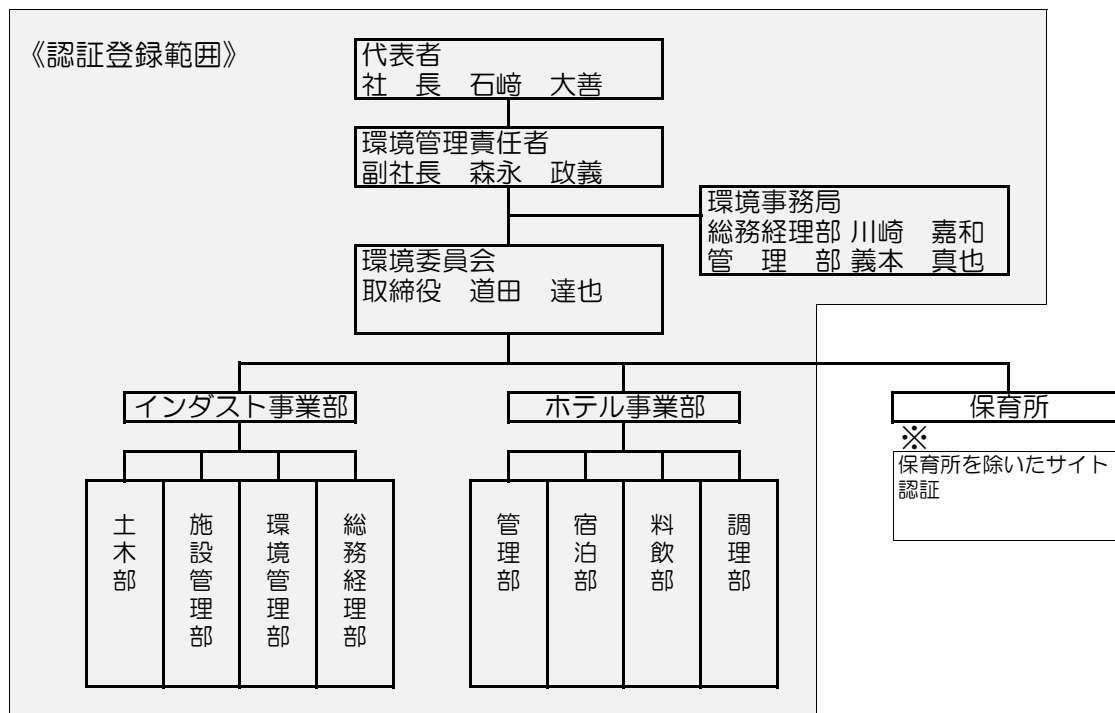
◇産業廃棄物最終処分実績(汚染土壌処理含む)

年間 357,293 t (令和5年5月～令和6年4月)

埋立処分の種類	量 (t)	構成比
燃えがら	32,747	9%
汚泥	151,722	42%
廃プラスチック類	47,182	13%
紙くず	0	0%
ゴムくず	0	0%
ガラスくず等	9,790	3%
鋳さい	22,352	6%
がれき類	30,986	9%
ばいじん	39,289	11%
政令13号廃棄物	879	0%
金属くず	1	0%
木くず	0	0%
汚染土壌	22,346	6%



◇産業廃棄物処分及び汚染土壌処理料金
別途協議による



	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◇主な環境負荷の実績 [インダスト]

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ²	858,952	802,824	805,941	
※排出係数(調整後)	kg-CO ₂ /kWh	0.527	0.527	0.527	
受託最終処分量	t	404,053	343,591	357,293	
廃棄物排出量	t	134,340	138,198	139,254	
一般廃棄物排出量	t	1,130	1,065	1,072	
産業廃棄物排出量	t	134,339	138,197	138,182	
水使用量	m ³	3,310	3,788	2,536	

※北陸電力の令和1年度の調整後の二酸化炭素排出係数0.527kg-CO₂/kWhを使用しています。

◇環境経営目標及びその実績 [インダスト]

中長期の環境経営目標については、39期の環境負荷実績を基準に40期～42期までの3年間に毎年1%減の最終年度時3%削減目標とした。新たな中長期の環境経営目標は、42期の環境負荷実績を基準に毎年1%の削減目標とする。

*39期の期間は、2021年5月1日～2022年4月30日である。

項目	単位	基準年 [39期]	2022年度 [40期]	2023年度 [41期]		評価	2024年度 [42期]
		実績 [100%]	実績	目標 [▲2%]	実績		目標 [▲3%]
電力による二酸化炭素削減 (浸出水量当たりの使用量) ※	kg-CO ²	735,353	676,888	720,646	647,656		713,292
	kwh/m ³	9.5	8.9	9.3	8.3	○	9.2
	基準年度比	2021年	94%	98%	87%		97%
車両燃料による二酸化炭素削減 [ガソリン] [軽油] (稼働時間当たりの燃料使用量)※	kg-CO ²	118,469	119,983	116,099	153,213		114,914
	L	6,291	5,686	6,165	6,460		6,102
	L	40,261	41,392	39,455	53,576		39,053
	L/h	15.1	-	14.8	16.5	△	14.6
	基準年度比	2021年	-	98%	109%		97%
一般廃棄物排出量※	kg	642	594	社内処理 の割合	567	○	社内処理 の割合
	基準年度比	2021年	93%	100%	100%		100%
産業廃棄物排出量※ (廃アルカリ比重1.0:m ³ →t)	t	134,339	138,197	水質分析結果 [BOD]	138,162	○	水質分析結果 [BOD]
	基準年度比	2021年	103%	20mg/L以下	20mg/L以下		20mg/L以下
上水道使用量 ※	m ³	3,310	3,788	使用量把握、設備点検、節水	2,536	○	使用量把握、設備点検、節水
	基準年度比	2021年	114%	異常有無確認	確認		異常有無確認
化学物質使用	薬品の適正使用の継続(PRTR制度対象物質の使用はありません。)						
地域社会への貢献	処理水はクローズ方式を継続し、下流域には放流しない。						

※二酸化炭素排出量について、電力は水処理施設使用電力を目標及び評価の対象とし浸出量当たりの使用量で評価。[期間平均が目標の110%未満達成:○、110～120%未満達成:△、120%以上未達:×]。

(2023年度より、車両燃料の削減、一般廃棄物・産業廃棄物、上水道使用量について目標及び評価方法を見直し変更)

※車両燃料は燃料使用量当たりの稼働時間[対象重機4台]で評価。[期間平均が目標の110%未満達成:○、110～120%未満達成:△、120%以上未達:×]。実績は基準年は評価見直し値に変更、前期評価実績は空欄とする。

※廃棄物排出量(一廃[不燃ごみ])については社内処理の割合で評価。[100%社内処理が継続されている場合:○、社外処理:×]。

(産廃[廃アルカリ])については処理水水質分析の結果で評価。[処理水分析[BOD]結果:20mg/L以下:○、21mg/L以上:×]。

※上水道使用量については、使用量の実績把握と設備の点検により異常の有無確認。異常有の場合は早急に対応する。[使用量の実績把握と設備の点検、節水の励行をしている:○、していない:×]。

◇主な環境負荷の実績 [ホテル]

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ²			986,013	
※排出係数(調整後)	kg-CO ₂ /kWh			0.527	
食品廃棄物排出量	kg			12,008	
再生利用量	kg			840	
熱回収量	kg			11,168	
再生利用等の実施率	%			95.3	
水使用量	m ³			49,307	

※北陸電力の令和1年度の調整後の二酸化炭素排出係数0.527kg-CO₂/kWhを使用しています。

◇環境経営目標及びその実績 [ホテル]

ホテル事業については41期より取組み範囲に追加。2023年度はコロナ過による宿泊人数の増減要因もあり、数値把握とし前年との比較評価とする。中長期の環境経営目標については、41期の環境負荷実績を基準に42期は前年1%減の目標とする。新たな中長期の環境経営目標は、42期の環境負荷実績を基準に毎年1%の削減目標とする。

*41期の期間は、2023年5月1日～2024年4月30日である。

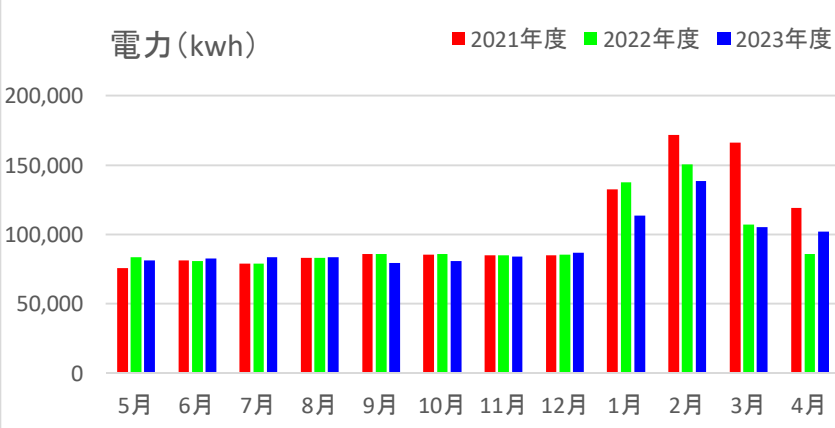
項目	単位	2021年度 [39期]	2022年度 [40期]	2023年度 [41期]		評価	2024年度 [42期]
		実績	実績	参考目標 [40期実績]	実績		目標 [前年▲1%]
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ²	—	804,635	804,635	814,451		806,306
※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)	kg-CO ₂ /人	—	72.0	72.0	80.1	△	79.3
	基準年度比	—	—	—	—		
車両燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ²	—	7,226	7,226	7,745		7,667
[ガソリン]	L	—	1,631	1,631	1,987		1,967
[軽油]	L	—	1,335	1,335	1,215		1,203
※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)	kg-CO ₂ /人	—	0.64	0.64	0.76	△	0.75
	基準年度比	—	—	—	—		
一般廃棄物排出量	kg	—	—	—	11,911		11,792
※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)	kg/人	—	—	—	1.16	—	1.15
前期データなし	基準年度比	—	—	—	—		
食品廃棄物排出量削減	発生量kg	—	14,389.6	14,389.6	12,008.4		11,888.3
※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)	再生利用量kg	—	480	480	840		
	熱回収量kg	—	13,909.6	13,909.6	11,168.4		
	kg/人	—	1.26	1.26	1.13	○	1.12
再生利用等の実施率[50%以上]	再生利用等の実施率	—	95.2%	95.2%	95.3%		
上水道使用量	m ³	—	49,973	49,973	49,307		48,814
※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)	m ³ /人	—	4.5	4.5	4.8	△	4.7
	基準年度比	—	—	—	—		
化学物質使用	薬品の適正使用の継続(PRTR制度対象物質の使用はありません。)						

※宿泊客数1人あたりの平均排出量(平均値)で評価する。[期間平均が目標の100%未満達成:○、100～120%未満達成:△、120%以上未達:×。]

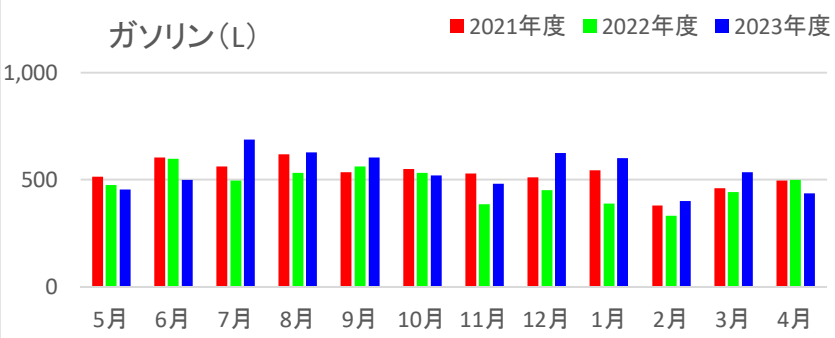
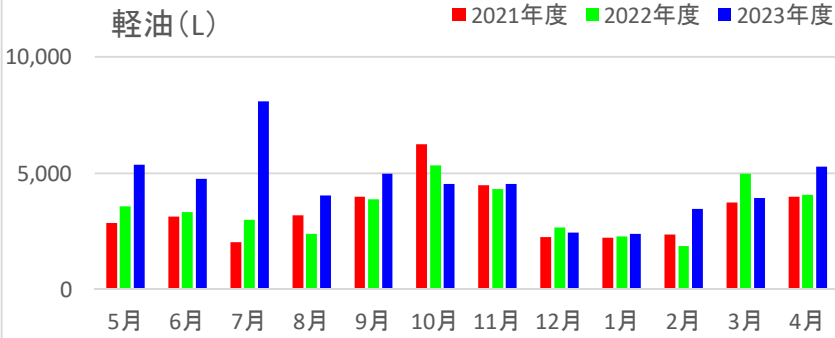
◇環境経営計画の取組結果とその評価

※取組状況の凡例：
実施○、不十分△、未実施×

[インダスト]

電力による二酸化炭素削減（水処理施設の電力）	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																		
・節電運動の展開（節電マークを貼り節電への意識を高める）	○	期間累計の浸出水量は僅かに増加しましたが、他方で暖冬影響による消雪ポンプ稼働が比較的少なかったことで、通年での電力消費量の増加率は10.6%の減であることから、適切な運用がなされたと評価します。	節電運動の展開[不要照明の消灯]、高効率な設備への取換え、クールビズ運動、機器更新時に併せた省エネ機器の採用或いはプロセスの見直し																																																		
・不要照明の消灯（使用しない部屋は消灯を行う）	○																																																				
・高効率な設備への取り換え(省エネルギー型電灯、電気器具)	○																																																				
・クールビズ運動（冷房28℃、暖房20℃）	○																																																				
・水処理プロセスの機器見直しに依る省エネルギーの推進	○																																																				
電力(kwh)  <table><caption>電力(kwh) 月別消費量 (推定値)</caption><tr><th>年度</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr><tr><td>2021年度</td><td>75,000</td><td>80,000</td><td>80,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>135,000</td><td>175,000</td><td>170,000</td><td>120,000</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>140,000</td><td>155,000</td><td>110,000</td><td>90,000</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>85,000</td><td>115,000</td><td>140,000</td><td>105,000</td><td>105,000</td></tr></table>		年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2021年度	75,000	80,000	80,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	135,000	175,000	170,000	120,000	2022年度	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	140,000	155,000	110,000	90,000	2023年度	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	115,000	140,000	105,000	105,000
年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																									
2021年度	75,000	80,000	80,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	135,000	175,000	170,000	120,000																																									
2022年度	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	140,000	155,000	110,000	90,000																																									
2023年度	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	115,000	140,000	105,000	105,000																																									

[インダスト]

車両燃料による二酸化炭素削減		取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																																																																							
・アイドリングストップ		○	ガソリンの累計消費量は、前年比+3%でした。引き続き、ガソリン車の使用機会における業務効率の向上に努めて下さい。 軽油消費量は、重機の累計稼働時間が前年比で約21%増加したものの、時間平均の軽油消費量の伸びは5%に留まっており、作業計画において効率的な作業がなされていると評価します。	アイドリングストップ、急発進・急停車の禁止、車両冷暖房の適正使用、重機・車両の点検整備																																																																																																							
・急発進・急停止の禁止		○																																																																																																									
・冷暖房の適正使用		○																																																																																																									
・重機、車両の点検整備		○																																																																																																									
ガソリン(L) ■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度 <table><caption>ガソリン(L) 月別消費量 (推定値)</caption><tr><th>年度</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr><tr><td>2021年度</td><td>500</td><td>550</td><td>550</td><td>600</td><td>550</td><td>550</td><td>550</td><td>550</td><td>550</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>450</td><td>550</td><td>500</td><td>550</td><td>550</td><td>550</td><td>450</td><td>500</td><td>400</td><td>350</td><td>450</td><td>500</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>450</td><td>500</td><td>650</td><td>600</td><td>550</td><td>550</td><td>500</td><td>600</td><td>550</td><td>400</td><td>500</td><td>450</td></tr></table> 軽油(L) ■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度 <table><caption>軽油(L) 月別消費量 (推定値)</caption><tr><th>年度</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr><tr><td>2021年度</td><td>3,000</td><td>3,500</td><td>2,000</td><td>3,000</td><td>4,000</td><td>6,000</td><td>4,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td><td>3,500</td><td>4,000</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>3,500</td><td>3,500</td><td>3,000</td><td>2,500</td><td>4,000</td><td>5,500</td><td>4,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td><td>2,000</td><td>4,500</td><td>4,000</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>5,000</td><td>4,500</td><td>8,000</td><td>4,000</td><td>5,000</td><td>4,500</td><td>4,500</td><td>2,500</td><td>3,000</td><td>3,000</td><td>4,000</td><td>5,000</td></tr></table>			年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2021年度	500	550	550	600	550	550	550	550	550	400	450	500	2022年度	450	550	500	550	550	550	450	500	400	350	450	500	2023年度	450	500	650	600	550	550	500	600	550	400	500	450	年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2021年度	3,000	3,500	2,000	3,000	4,000	6,000	4,500	2,500	2,500	2,500	3,500	4,000	2022年度	3,500	3,500	3,000	2,500	4,000	5,500	4,500	2,500	2,500	2,000	4,500	4,000	2023年度	5,000	4,500	8,000	4,000	5,000	4,500	4,500	2,500	3,000	3,000	4,000	5,000	
年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																																																															
2021年度	500	550	550	600	550	550	550	550	550	400	450	500																																																																																															
2022年度	450	550	500	550	550	550	450	500	400	350	450	500																																																																																															
2023年度	450	500	650	600	550	550	500	600	550	400	500	450																																																																																															
年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																																																															
2021年度	3,000	3,500	2,000	3,000	4,000	6,000	4,500	2,500	2,500	2,500	3,500	4,000																																																																																															
2022年度	3,500	3,500	3,000	2,500	4,000	5,500	4,500	2,500	2,500	2,000	4,500	4,000																																																																																															
2023年度	5,000	4,500	8,000	4,000	5,000	4,500	4,500	2,500	3,000	3,000	4,000	5,000																																																																																															

◇環境経営計画の取組結果とその評価

※取組状況の凡例：
実施○、不十分△、未実施×

[インダスト]

一般廃棄物の削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																				
・コピー用紙再使用の推進	○	取り組みが継続的された結果、前期比での期間累計量は、通年で88%であり、良好に推移したと評価します	コピー用紙再使用の推進、分別資源化の推進を継続																																																				
・分別資源化の推進	○																																																						
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○																																																						
※廃棄物排出量（一廃[不燃ごみ]）について、適正処理が継続されている場合は○印。																																																							
一般廃棄物(Kg) <table><caption>一般廃棄物(Kg)</caption><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr><tr><td>5月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>6月</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>7月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>8月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>9月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>10月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>11月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>12月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>1月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>2月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>3月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>4月</td><td>45</td><td>45</td><td>45</td></tr></table>				月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	45	45	45	6月	50	50	50	7月	45	45	45	8月	45	45	45	9月	45	45	45	10月	45	45	45	11月	45	45	45	12月	45	45	45	1月	45	45	45	2月	45	45	45	3月	45	45	45	4月	45	45	45
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																				
5月	45	45	45																																																				
6月	50	50	50																																																				
7月	45	45	45																																																				
8月	45	45	45																																																				
9月	45	45	45																																																				
10月	45	45	45																																																				
11月	45	45	45																																																				
12月	45	45	45																																																				
1月	45	45	45																																																				
2月	45	45	45																																																				
3月	45	45	45																																																				
4月	45	45	45																																																				

[インダスト]

産業廃棄物の削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																		
・即日覆土の励行	○	累計の処理水量は、前年比で＋３％増加しています。降水量の多寡だけでなく、基調的には埋立面積の拡大に伴う事柄なので、引き続き、効果的な表面雨水排水による浸出水量の抑制に留意して下さい。	廃棄物の即日覆土励行、埋立面積(区画柵)の縮小、雨水排水路の整備・清掃等を継続																																																		
・埋立面積の縮小（区画埋立）	○																																																				
・雨水排水路の整備、清掃	○																																																				
※廃棄物排出量（産廃[廃アルカリ]）について、適正処理が継続されている場合は○印。																																																					
産業廃棄物(t) <table><caption>産業廃棄物(t)</caption><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr><tr><td>5月</td><td>9,500</td><td>10,000</td><td>10,500</td></tr><tr><td>6月</td><td>10,000</td><td>11,000</td><td>11,500</td></tr><tr><td>7月</td><td>9,000</td><td>10,000</td><td>10,500</td></tr><tr><td>8月</td><td>10,000</td><td>10,500</td><td>11,000</td></tr><tr><td>9月</td><td>10,500</td><td>10,500</td><td>10,000</td></tr><tr><td>10月</td><td>13,000</td><td>12,000</td><td>12,000</td></tr><tr><td>11月</td><td>11,500</td><td>13,000</td><td>11,000</td></tr><tr><td>12月</td><td>12,500</td><td>12,500</td><td>13,000</td></tr><tr><td>1月</td><td>11,000</td><td>12,500</td><td>12,000</td></tr><tr><td>2月</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>12,500</td></tr><tr><td>3月</td><td>14,000</td><td>12,500</td><td>12,500</td></tr><tr><td>4月</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>13,000</td></tr></table>				月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	9,500	10,000	10,500	6月	10,000	11,000	11,500	7月	9,000	10,000	10,500	8月	10,000	10,500	11,000	9月	10,500	10,500	10,000	10月	13,000	12,000	12,000	11月	11,500	13,000	11,000	12月	12,500	12,500	13,000	1月	11,000	12,500	12,000	2月	11,500	11,500	12,500	3月	14,000	12,500	12,500	4月	11,500
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																		
5月	9,500	10,000	10,500																																																		
6月	10,000	11,000	11,500																																																		
7月	9,000	10,000	10,500																																																		
8月	10,000	10,500	11,000																																																		
9月	10,500	10,500	10,000																																																		
10月	13,000	12,000	12,000																																																		
11月	11,500	13,000	11,000																																																		
12月	12,500	12,500	13,000																																																		
1月	11,000	12,500	12,000																																																		
2月	11,500	11,500	12,500																																																		
3月	14,000	12,500	12,500																																																		
4月	11,500	11,500	13,000																																																		

[インダスト]

上水道使用量の削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																		
・漏水防止（点検）	○	期間累計の上水消費量は、前年比で-23%を達成しており、非常に良好且つ効果的な取り組みがなされたと評価します。	水道管の点検(漏水防止)、事務所水道の節水、水処理プロセスの見直し、施設内の花木及び芝生への散水に雨水を利用する等、適正使用を継続																																																		
・節水対策（蛇口付近に節水ラベルを貼り、節水に心がける）	○																																																				
・水処理プロセスに於ける水使用量の削減に努める	○																																																				
・芝生の散水に雨水（洪水調整池）を利用	○																																																				
※上水道使用量について、適正使用が継続されている場合は○印。																																																					
水道水(m³) <table><caption>水道水(m³)</caption><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr><tr><td>5月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>6月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>7月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>8月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>9月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>10月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>11月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>12月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>1月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>2月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>3月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>4月</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td></tr></table>				月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	200	150	100	6月	200	150	100	7月	200	150	100	8月	200	150	100	9月	200	150	100	10月	200	150	100	11月	200	150	100	12月	200	150	100	1月	200	150	100	2月	200	150	100	3月	200	150	100	4月	200
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																		
5月	200	150	100																																																		
6月	200	150	100																																																		
7月	200	150	100																																																		
8月	200	150	100																																																		
9月	200	150	100																																																		
10月	200	150	100																																																		
11月	200	150	100																																																		
12月	200	150	100																																																		
1月	200	150	100																																																		
2月	200	150	100																																																		
3月	200	150	100																																																		
4月	200	150	100																																																		

◇環境経営計画の取組結果とその評価

※取組状況の凡例：
実施○、不十分△、未実施×

[インダスト]

化学物質使用	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
化学物質の適正使用（薬品の適正使用） ※薬品の使用について、適正使用が継続されている場合は○印。 PRTR制度対象物質の使用はありません。	○	薬品使用量は前年対比144t増加。内リサイクル品の使用割合は全体の64.1%。前年比+3.5ポイント。今後も適正使用に努める。	薬品の適正使用

[インダスト]

地域社会への貢献	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
処理水のクローズ方式（放流しない）による環境保全	○	全般的に良好に活動が継続されたと評価します。引き続き、自然災害による被害の発生を最少化するため、施設の点検および可能な範囲で対策を講じてください。	処分場跡地の有効利用促進、処理水クローズ方式による環境保全、施設周辺の植樹等による場内緑化の継続
施設周辺排水（雨水）の水質分析実施	○		
施設周辺の植樹に依る場内環境の緑化に努める ※取組が継続されている場合は○印。	○		

◇環境経営計画の取組結果とその評価

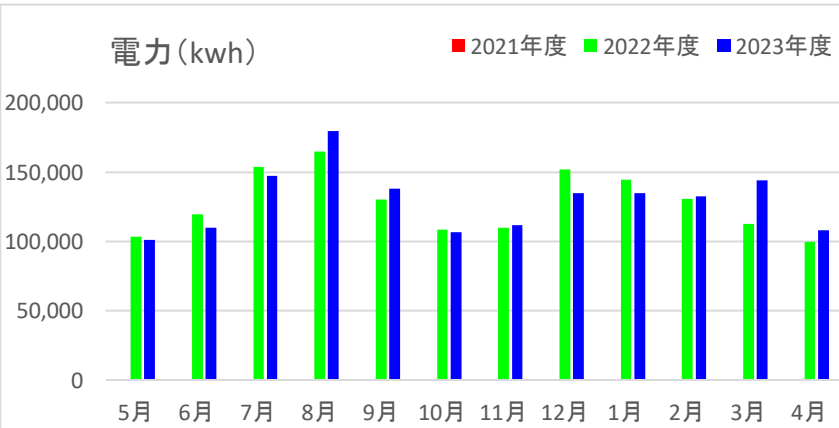
※取組状況の凡例：
実施○、不十分△、未実施×

[ホテル]

電力による二酸化炭素削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
・ 不要照明の消灯（使用しない部屋は消灯を行う）	○	・ ディモンド監視器によるディモンド値の対策は、定着しており効果あり。 ・ 気温、客数増加による電気使用量増はやむを得ない面あるが、監視器利用により瞬時の利用料が多い場合、利用していないスペースでのエアコン使用などチェックしていく。	節電運動の展開[不要照明の消灯]、高効率な設備への取換え
・ 高効率な設備への取り換え(省エネルギー型電灯、電気器具)	○		

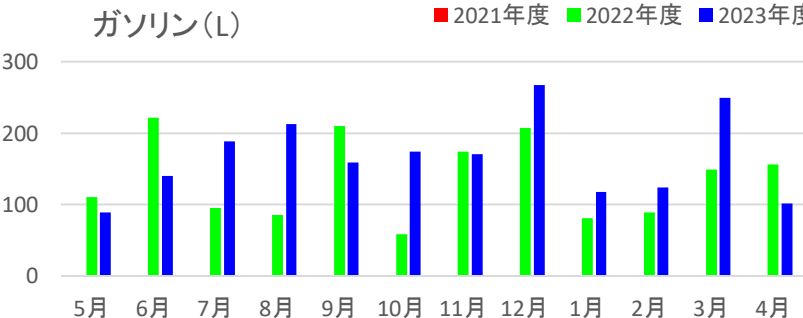
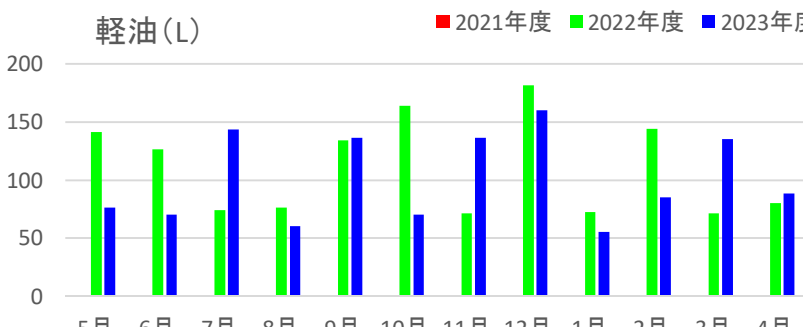
電力(kwh)

■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度



月	2021年度	2022年度	2023年度
5月	105,000	105,000	105,000
6月	120,000	120,000	110,000
7月	155,000	155,000	145,000
8月	165,000	165,000	185,000
9月	130,000	130,000	140,000
10月	110,000	110,000	110,000
11月	110,000	110,000	110,000
12月	150,000	150,000	135,000
1月	145,000	145,000	135,000
2月	130,000	130,000	135,000
3月	115,000	115,000	145,000
4月	100,000	100,000	110,000

[ホテル]

車両燃料による二酸化炭素削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																																																																							
・アイドリングストップ	○	・令和6年度は、送迎バス入替も検討しており、低燃費型へのバスの入替を実施したい。 ・引き続き効率的な社用車使用に心掛ける。	アイドリングストップ、急発進・急停車の禁止、車両冷暖房の適正使用																																																																																																							
・急発進・急停止の禁止	○																																																																																																									
・冷暖房の適正使用	○																																																																																																									
ガソリン(L) 2021年度2022年度2023年度 <table border="1"><caption>ガソリン(L) 月別推移 (推定値)</caption><thead><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>5月</td><td>110</td><td>110</td><td>90</td></tr><tr><td>6月</td><td>220</td><td>140</td><td>140</td></tr><tr><td>7月</td><td>100</td><td>100</td><td>190</td></tr><tr><td>8月</td><td>90</td><td>90</td><td>210</td></tr><tr><td>9月</td><td>210</td><td>160</td><td>160</td></tr><tr><td>10月</td><td>60</td><td>180</td><td>180</td></tr><tr><td>11月</td><td>180</td><td>180</td><td>180</td></tr><tr><td>12月</td><td>210</td><td>210</td><td>270</td></tr><tr><td>1月</td><td>80</td><td>120</td><td>120</td></tr><tr><td>2月</td><td>90</td><td>120</td><td>120</td></tr><tr><td>3月</td><td>150</td><td>150</td><td>250</td></tr><tr><td>4月</td><td>160</td><td>160</td><td>100</td></tr></tbody></table> 軽油(L) 2021年度2022年度2023年度 <table border="1"><caption>軽油(L) 月別推移 (推定値)</caption><thead><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>5月</td><td>140</td><td>80</td><td>80</td></tr><tr><td>6月</td><td>130</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>7月</td><td>70</td><td>140</td><td>140</td></tr><tr><td>8月</td><td>80</td><td>60</td><td>60</td></tr><tr><td>9月</td><td>130</td><td>130</td><td>130</td></tr><tr><td>10月</td><td>160</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>11月</td><td>70</td><td>140</td><td>140</td></tr><tr><td>12月</td><td>180</td><td>160</td><td>160</td></tr><tr><td>1月</td><td>70</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>2月</td><td>140</td><td>90</td><td>90</td></tr><tr><td>3月</td><td>70</td><td>140</td><td>140</td></tr><tr><td>4月</td><td>80</td><td>90</td><td>90</td></tr></tbody></table>		月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	110	110	90	6月	220	140	140	7月	100	100	190	8月	90	90	210	9月	210	160	160	10月	60	180	180	11月	180	180	180	12月	210	210	270	1月	80	120	120	2月	90	120	120	3月	150	150	250	4月	160	160	100	月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	140	80	80	6月	130	70	70	7月	70	140	140	8月	80	60	60	9月	130	130	130	10月	160	70	70	11月	70	140	140	12月	180	160	160	1月	70	50	50	2月	140	90	90	3月	70	140	140	4月	80	90	90	
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																							
5月	110	110	90																																																																																																							
6月	220	140	140																																																																																																							
7月	100	100	190																																																																																																							
8月	90	90	210																																																																																																							
9月	210	160	160																																																																																																							
10月	60	180	180																																																																																																							
11月	180	180	180																																																																																																							
12月	210	210	270																																																																																																							
1月	80	120	120																																																																																																							
2月	90	120	120																																																																																																							
3月	150	150	250																																																																																																							
4月	160	160	100																																																																																																							
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																							
5月	140	80	80																																																																																																							
6月	130	70	70																																																																																																							
7月	70	140	140																																																																																																							
8月	80	60	60																																																																																																							
9月	130	130	130																																																																																																							
10月	160	70	70																																																																																																							
11月	70	140	140																																																																																																							
12月	180	160	160																																																																																																							
1月	70	50	50																																																																																																							
2月	140	90	90																																																																																																							
3月	70	140	140																																																																																																							
4月	80	90	90																																																																																																							

◇環境経営計画の取組結果とその評価

※取組状況の凡例：
実施○、不十分△、未実施×

[ホテル]

一般廃棄物の削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容																																																		
・コピー用紙再使用の推進	○	・廃棄物の計量、社員への意識付けは定着してきた。 ・引き続きアメニティーでエコ化できるものの選定を行うとともに、軽量化のためお客様に持ち帰り利用して頂けるものを探していこう。	コピー用紙再使用の推進、分別資源化の推進を継続																																																		
・分別資源化の推進	○																																																				
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○																																																				
一般廃棄物 (Kg) ■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度 <table><caption>一般廃棄物 (Kg)</caption><tr><th>月</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr><tr><td>5月</td><td>1100</td><td>1100</td><td>1100</td></tr><tr><td>6月</td><td>1050</td><td>1050</td><td></td></tr><tr><td>7月</td><td>950</td><td>950</td><td></td></tr><tr><td>8月</td><td>1150</td><td>1150</td><td></td></tr><tr><td>9月</td><td>900</td><td>900</td><td></td></tr><tr><td>10月</td><td>1100</td><td>1100</td><td></td></tr><tr><td>11月</td><td>950</td><td>950</td><td></td></tr><tr><td>12月</td><td>900</td><td>900</td><td></td></tr><tr><td>1月</td><td>1100</td><td>1100</td><td></td></tr><tr><td>2月</td><td>950</td><td>950</td><td></td></tr><tr><td>3月</td><td>1050</td><td>1050</td><td></td></tr><tr><td>4月</td><td>900</td><td>900</td><td></td></tr></table>				月	2021年度	2022年度	2023年度	5月	1100	1100	1100	6月	1050	1050		7月	950	950		8月	1150	1150		9月	900	900		10月	1100	1100		11月	950	950		12月	900	900		1月	1100	1100		2月	950	950		3月	1050	1050		4月	900
月	2021年度	2022年度	2023年度																																																		
5月	1100	1100	1100																																																		
6月	1050	1050																																																			
7月	950	950																																																			
8月	1150	1150																																																			
9月	900	900																																																			
10月	1100	1100																																																			
11月	950	950																																																			
12月	900	900																																																			
1月	1100	1100																																																			
2月	950	950																																																			
3月	1050	1050																																																			
4月	900	900																																																			

[ホテル]

食品廃棄物排出量削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
・発生量の把握	○	・食品残渣の肥料での再利用は計画通りに実施。 ・食材の下処理の外注化による食品残渣量の低下は達成できた。 ・引き続きお客様への食材事前聞き取りにより、料理の食べ残しの減少、食材の歩留まり向上をはかる。	食品廃棄物の発生量の把握、加工ロスの削減、生ゴミの堆肥化
・加工ロスの削減	○		
・生ゴミの堆肥化	○		

発生量 (t)

■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度

月	2021年度	2022年度	2023年度
5月	1100	1000	1000
6月	1100	950	
7月	1100	850	
8月	1400	1000	
9月	1100	750	
10月	1200	1000	
11月	1200	850	
12月	1200	950	
1月	900	850	
2月	900	1000	
3月	1200	1500	
4月	1100	1300	

[ホテル]

上水道使用量の削減	取組状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
・漏水防止（点検）	○	・漏水箇所の早期発見、大浴場、露天風呂等のコーキング、漏れやすい場所の点検は定期的に実施していくことが必要。	水道管の点検(漏水防止)、節水対策
・節水対策（蛇口付近に節水ラベルを貼り、節水に心がける）	○		

水道水(m³)

■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度

月	2021年度	2022年度	2023年度
5月	4000	4500	4500
6月	3500	4500	
7月	4000	4500	
8月	4500	5500	
9月	4000	4500	
10月	4500	5000	
11月	4000	3500	
12月	4500	3500	
1月	4000	3000	
2月	4000	2500	
3月	4500	3500	
4月	4000	3000	

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用法令	適用内容	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約書	遵守確認
	産業廃棄物管理票交付状況の報告	遵守確認
	産業廃棄物処理施設設置許可証	遵守確認
	林地開発行為の許可	遵守確認
	廃棄物処理施設の技術管理者の設置義務	遵守確認
	最終処分場維持管理記録の閲覧	遵守確認
	維持管理に関する情報の公開	遵守確認
	最終処分場の放流水構造・維持管理基準	遵守確認
	施設の定期検査	遵守確認
	定期検査の申請	遵守確認
	産業廃棄物処分業許可	遵守確認
	産業廃棄物管理票の送付	遵守確認
	産業廃棄物管理票（C1）の保存	遵守確認
	維持管理積立金の積立義務	遵守確認
富山県公害防止条例	浸出液処理設備に設置する送風機 （原動機の定格出力7.5kw以上のものに限る）	遵守確認
ダイオキシン類対策特別措置法	最終処分場の放流水	遵守確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則	産業廃棄物埋立計画及び環境監視計画	遵守確認
富山市産業廃棄物適正処理指導要綱	県外産業廃棄物処分計画表	遵守確認
土壌汚染対策法	汚染土壌処理業許可	遵守確認
	汚染土壌の処理に関する基準	遵守確認
	汚染土壌処理記録の閲覧	遵守確認
毒物及び劇物取締法	・盗難／漏洩防止・容器、貯蔵場所に表示・事故・盗難時届出（警察など）	遵守確認
消防法	消防設備の点検[点検(年2回)、消防への報告(3年に1回)]	遵守確認
フロン排出抑制法	業務用の空調機器（IPOPソリューション）で冷媒としてFガス類が使われているもの（第二種特定製品を除く）	遵守確認
家電リサイクル法	【特定家庭用機器】テレビ、パソコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機 [※自社所有物の廃棄の場合]	遵守確認
小型家電リサイクル法	【使用済小型電子機器】パソコン・携帯電話・デジタルカメラ・CDプレーヤー等々 [※自社所有物の廃棄の場合]	遵守確認
浄化槽法	年1回の定期検査の受検を管理者（所有者等）に義務付け	遵守確認
労働安全衛生法 〈クレーン等安全規則〉	令第13条第3項第17号のエレベーターを設置後	遵守確認

・環境関連法規等の遵守状況は毎年4月にチェックリストで確認し、結果は上記の通り違反はありませんでした。また、関係当局よりの違反の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

◇緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：水処理施設周辺の薬品漏洩事故発生

■実施日：2023年6月29日	■実施場所：水処理施設周辺
■参加者：従業員	■実施内容：・発見～状況確認～措置対応 ～事態収束確認
■評価：薬品漏洩事故に於ける初動対応手順の内容確認 各員の担当所掌外の作業手順の内容について各員が確認 苛性ソーダの取扱及び保護具着用について各員に周知	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

■実施状況の様子

①発見時状況



②漏洩箇所水洗



③措置対応 漏洩液回収機材配置



④措置対応 漏洩配管取替補修



⑤場外への環境影響有無の確認



⑥補修配管の漏洩有無確認



◇代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月20日

- ・[インダスト事業部]二酸化炭素排出量削減については、取組み対象施設において期間累計の浸出水量は僅かに増加したが、暖冬影響による消雪ポンプ稼働が比較的少なかったことで、通年での電力消費量の増加率は10.6%の減であることから、適切な運用がなされたと評価します。ガソリンの累計消費量は、前年比+3%でした。引き続きガソリン車の使用機会における業務効率の向上に努めて下さい。軽油消費量は、重機の累計稼働時間が前年比で約21%増加したものの、時間平均の軽油消費量の伸びは5%に留まっており、作業計画において効率的な作業がなされていると評価します。一般廃棄物の取組及び上水道使用量の節約については良好に推移したと評価します。産業廃棄物の取組については、効果的な表面雨水排水による浸出水量の抑制に留意して下さい。地域社会への貢献については、全般的に良好に活動が継続されたと評価します。引き続き、自然災害による被害の発生を最小化するため、施設の点検および可能な範囲で対策を講じて下さい。
- ・[ホテル事業部]今年度より取組対象としました。二酸化炭素削減については効率のよい設備使用に努めて下さい。一般廃棄物の削減については社員一人一人の意識をもち、アメニティーのエコ化など廃棄物の軽量化に取り組んで下さい。食品廃棄物排出量削減については、引き続き食品残渣の肥料での再利用や食材自体の残渣量低減に取組み再生利用等実施率50%以上を維持して下さい。上水道使用量削減については定期的に設備の点検を励行し設備の維持管理を徹底して下さい。
- ・いずれの取り組みに於いても社員一人一人が高い意識で活動を継続出来ていると評価します。